第 25 回　津市子どもの権利条例づくり推進市民委員会　報告

日時:平成 25 年 3 月 22 日(金)18:30～
場　所:津市役所 8 階　大会議室 B

＜参加者＞（敬称略）

石山佳秀（NPO 法人フリースクール三重シューレ)、堀本浩史（すばる児童館)、田中利美（津市民生委員・児童委員連合会)、増田和正（津市人権・同和教育研究協議会)、石川靖代（子ども家庭課)、堀内咲子（津市こども総合支援室)、浅生伸之（〃)、丹羽敬二（〃)、大野維佐子（〃)、永合哲也（津市教育委員会事務局人権教育課)、田部眞樹子（(特）津子ども NPO センター)、竹村　浩（〃)、浅原直美（〃)、山口久美子(〃)、谷口美子（〃)、中橋千枝美（〃）川喜田ひろ美（〃）

進行:堀内

●第 24 回市民委員会(2013 年 2 月 6 日)報告

・竹村事務局長より報告

●この間行った全体、チーム別会議等の報告及び検討

●検討事項

●この間行った全体、チーム別会議等の報告及び検討

＜全体＞

★報告会ふりかえり

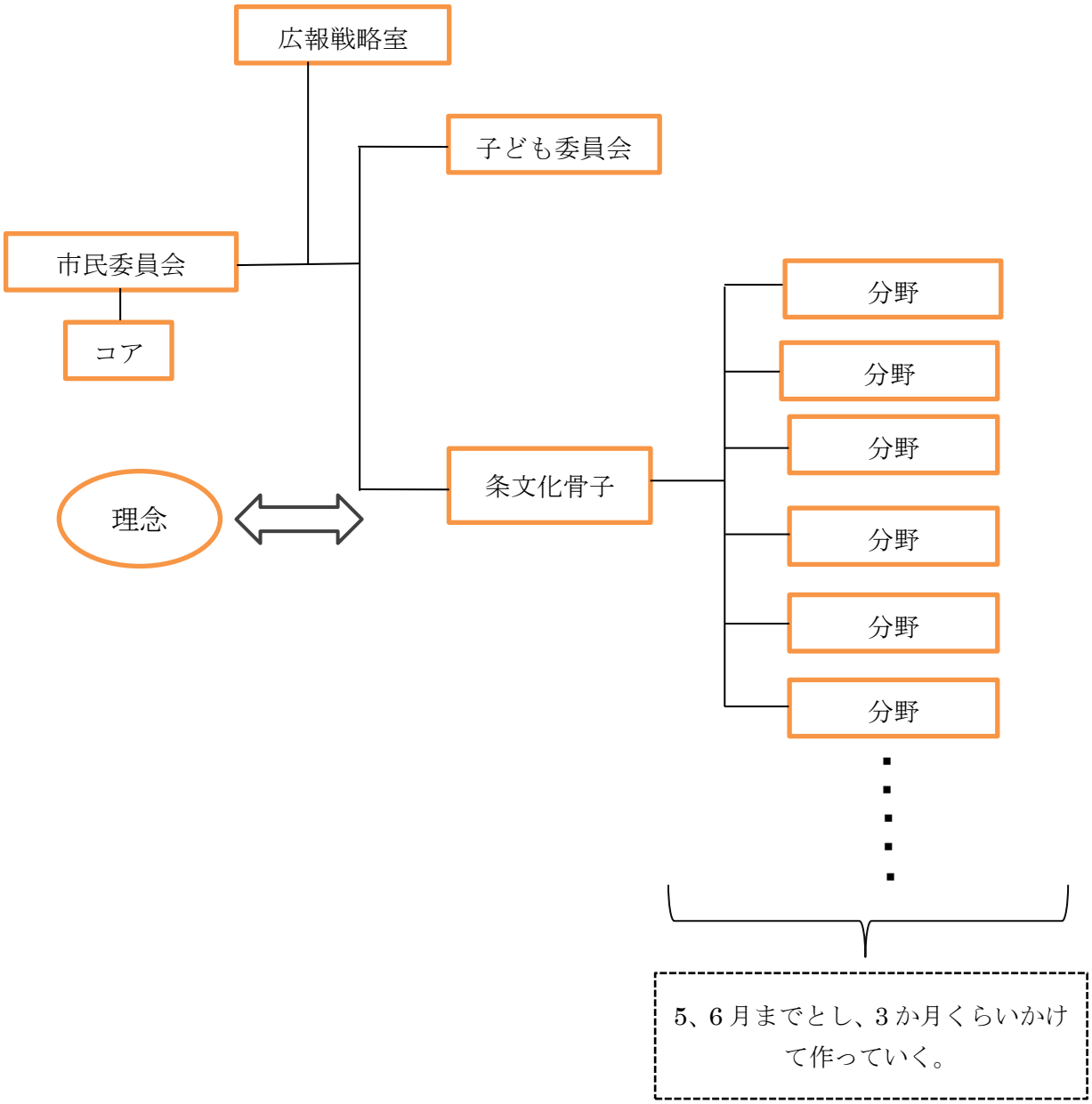
・自分たちのしたことをふりかえりまとめることができた。
・子どもたちを中心に条例づくりをすすめなければいけない。
・たくさんの団体が関わりながらすすめていることを実感できた。
・条例づくり推進市民委員会としてのまとめになった。
・今回教育長に来てもらったことが大きい。
・教育委員会がやりやすくなった。学校現場への影響がある。
・議員にたくさん参加してもらったことが大きい。津市議会議員 6 名、県会議員 1 名
・作り方に賛成。後半のグループディスカッションで話せて良かったと思う人が多かった。
・みんなに話を聞いたら時間なくなった。50 分が早かった。(グループディスカッション)
・ファシリテーターが 1 人だったことで、みんなが意見を出せた。(グループディスカッション)
・参加者の中で膨らみがあった。話す場があったことが良かった。いい話ができた。
・それぞれみんなが協力し合ってやろうという雰囲気が良かった。
・全体で作り上げようという気持ちになれた。
・子どもたちにとっても報告会に出たことで、自分たちの位置がわかったように思う。
・積み重ねで話せるようなってきた。個人個人の言えること言えるようになった。自信につながった。（子ども委員会）
・同じ場所にいること。子どもたちの声を大人が聴く。やっていっていいと思えた。自分たちが後押ししてもらった。
・全員が目いっぱいの中で動いてきた。
・報告会をしたことで、今まで水面下でしてきたことがオープンになった感じ。
・アンケートで量的な子どもの声。子どもたちの生の声が聴けた。
・自分たちの仲間とアンケートについて話しがしたいと言ってくれた。
・内輪から外への大きなヒントになった。議会、市の中での議論が報告会からスタートする。

・県の人からも「すごい、このやり方！」と言われた。
・手間暇かかったことが良かった。プロセスを大事にしてきたこと、オープンにして伝えたいと思った。
・自分のところに報告書を持ち帰って、報告書を使って、保健師と話しをしたい。
・生協の人にユニセフの事務局として、市民委員会に入ってほしい。
・目的がかなり達成できて、これからの広がりのヒントになった。

＜チーム＞
★広報チーム
新ホームページの件
・流れとして今月末。随分変化していいものに。
・いくつかの意見にこのように対応できる説明があった。
内容の確認
※紹介文の原稿依頼：子どもの声（浅生さん）、子ども委員会（堀本さん）
27 日までにメーリングリストに流す
事務局への移行について。
引き継ぎにあたって業者との話し合いのところに入る。

●4 月以降のことについて
・今年度はチームごとに動いてきた。これから（4 月から）の運営体制について、条文化に向けて体制を変えていく。
・どこまで変わるかわからないが、条文化を詰めていくグループなど、今年度とは違うチーム作りが必要。
・理念の話し合いを全体でしていく。理念を市民委員会のメンバーで落とし込むことが大事。
・これからの広報は戦略を立てていく。今年度はチームでしてきたが、これからはみんなでやっていくことが節目。
・それぞれが自分のところに持ち帰ってすることも広報。
・市民に向けての広報。作業は事務局。
・子どもに返していくプロセスが大事。（子ども委員会）
・子ども委員会のあり方も発展させたい。ファシリテーターも広げる必要がある。
・ホームページが子どもとの接点になるといいと思った。
・子どもたちが発信主体になる。
・土台があると広がりになる。次へのステップになる。
・社会で問題になっていることを投げかけるのもいいのでは。言っていいという空気がある。
・大人一人一人が自分はどうだったか問い直す時。みんなに対しての戦い。自分に返ってくる。
・子ども委員会の方向性。
現在 15 名位（のべ）。①子どもを増やす。②ファシリテーターを広げる。
どうひろげるか・・・チラシ。
楽しくないと来ない！重層的には自分たちの声が反映されることが楽しい。

★子ども会議プログラムプロジェクトチームにつて
4 月 5 月は子ども委員会を続けていく。子ども会議チームについては、暫定的に続けていくのはどうかという投げかけがされ続けていくことになった。6 月で変わる。



★宿題

報告書を読んで、津市の子どもの状況を出す。

★一人一人が責任を持って立ちきる。（主体的に）

●市民委員会決算見通し

●次回市民委員会　　2013 年 4 月 19 日（金）18:30～　津市本庁舎　8 階　大会議室 A